

広中支 第7号
2019年10月25日

日本郵便株式会社広島中央郵便局長
三谷 幸信 殿

郵政産業労働者ユニオン
広島中央支部
支部長 大野 明彦

2019年度年末年始繁忙要求書の提出について

以下の通り要求を提出するので、誠意をもって早急に回答すること。

- 1、 業務研究会を全社員対象で行うこと。
- 2、 組合説明する前に業研を始めないようにすること。
- 3、 年賀葉書の営業に関して、社員にプレッシャーと受け取られる発言は止めること。
- 4、 年賀販売の開始までに、訪問販売及び、コンプライアンスに関する研修を内務外務問わず実施すること。
- 5、 労働災害防止のための指導を徹底すること。
- 6、 パレット事故防止のため、故障パレットは使用しないよう広島局に要請すること。
- 7、 社員の超勤発令は4H前を厳守すること。
- 8、 全社員もれの無いように1月1日から1月3日の間に1日以上の休みを暦日で与えること。
- 9、 連続勤務は、8時間勤務以下の社員は6日、10時間勤務の社員は5日以内となるよう勤務指定をすること。
- 10、 特別条項を適用しないこと。
- 11、 年次有給休暇の請求は正規取り扱いすること。
- 12、 12月31日から1月3日までの間、超勤をさせないこと。
- 13、 短期アルバイトの雇用は、雇用計画通りの人員を早期に確保すること。
- 14、 短期アルバイトの雇用にあたり、短期アルバイトより時給の低い長期期間雇用社員がおり、モチベーションの低下となっている。短期アルバイト雇用中は、長期期間雇用社員の時給を200円引き上げること。
- 15、 広島局の分室設置は止めること。
- 16、 年末年始の会社の休業情報を共有すること。
- 17、 年末年始の休みに入る前に、業務に必要な物品を確保すること。
- 18、 例年広島東局では小包の返納が23時を過ぎていたが、小包受託の会社に22時まで返納出来るような体制を要請すること。
- 19、 小包受託者の空白区をなくすこと。
- 20、 夜間再配の要員を確保すること。

- 2 1、 ゼロ年賀は出来る班のみ実施すること。
- 2 2、 年末始の通常郵便物は2パス交付するよう要請すること。
- 2 3、 年明けの交付を平準化するように広島局に要請すること。